

第 2 回 資源循環型施設建設候補地選定委員会 会議録

日時：平成 17 年 6 月 21 日（火）

午後 1 時 30 分～ 4 時 00 分

場所：清浄園 2 階 会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

第 1 回委員会の会議録について

4 議題

- (1) 廃棄物処理技術の最新の動向 全国都市清掃会議・・・(資料 1)
- (2) 地理情報システム活用事例説明・・・・・・・・・・(資料 2)
- (3) 除外地域抽出項目の検討・・・・・・・・・・(資料 3)
- (4) 広域連合のごみ処理の状況・・・・・・・・・・(資料 4)
- (5) 候補地選定のスケジュール(案)について・・・・・・・・(資料 5)
- (6) 第 3 回委員会先進地視察について・・・・・・・・・・(資料 6)
- (7) 第 4 回委員会検討事項について

5 その他

長野広域連合ごみシンポジウムについて

6 閉 会

出席委員（14人）

栗田たか子	委員
宮原 則子	委員
上沢 忠人	委員
両角 秀	委員
若林 政夫	委員
金井 善男	委員
樋口 勲	委員
小山 敏子	委員
木口 憲爾	委員
表 秀孝	委員
川上 清	委員
南波 清吾	委員
柳澤 旨賢	委員
片桐 久	委員

欠席委員（1人）

外山 愷	委員
------	----

出席者 事務局（12人）

社団法人 全国都市清掃会議	技術部長	栗原 英隆
上田市役所 廃棄物対策課	課長	田中 行房
東御市役所 市民課	副主幹兼係長	三溝 省吾
丸子町役場 生活課	課長	新井 忠雄
長門町役場 町民課	課長補佐兼係長	荻原 彰
真田町役場 観光商工課	課長補佐兼係長	大久保晴男
武石村役場 建設環境課	係長	池内 万雄
和田村役場 住民課	課長	城下 利治
青木村役場 住民福祉課	課長	中澤知賀雄
上田地域広域連合事務局	事務局長	市村 良夫
上田地域広域連合事務局	ごみ処理広域化推進室 室長	宮澤 俊文
上田地域広域連合事務局	ごみ処理広域化推進室 主任	塩入 学

出席者 コンサルタント（2人）

国際航業株式会社 公共ビジネス事業本部 環境統括部		
環境施設部	課長	尾葉石 優
環境施設部	主任技師	井土 將博

開会（ 1 時 3 0 分 ）

1 開会

（事務局）

2 委員長あいさつ

（委員長）

3 報告事項

（事務局）

第 1 回会議録の確認について

（各委員）

特に変更等の意見なし

（委員長）

若干誤字等があるのでもう一度事務局で読み直してホームページ掲載することとする。

4 議題

（ 1 ）廃棄物処理技術の最新の動向 全国都市清掃会議

（事務局）

資料 1 ページから 1 7 ページまで （ 1 ）廃棄物処理技術の最新の動向について資料 1 に基づいて説明する。

（全委員）

特に質疑なし

（ 2 ）地理情報システム活用事例説明

（コンサルタント）

資料 1 8 ページ （ 2 ）地理情報システムの活用事例について資料 2 に基づいて説明する。（パソコンを使い地理情報システムを使った候補地選定業務についてデモンストレーションしながら説明。）

（各委員）

特に質疑なし。

（委員長）

地理情報システムはあくまでも手段であり、重要なのはどのようなフィルターをかけていくかということであるということをご理解いただきたい。

(3) 除外地域抽出項目の検討

(事務局)

資料 19 ページ (3) 除外地域項目の検討について資料 3 に基づいて説明する。

(委員)

施設については、これまでのとおり現在の位置で分散との考えもあるがこの点については、検討すべきでないか。

(事務局)

原則的には広域連合のごみ処理広域化計画に基づき統合施設として整備したいということである。しかしながら検討すべきということであれば、当委員会でご議論いただくことも考えられる。

(委員長)

この地区に県立自然公園はあるのか。

(コンサルタント)

資料収集で県と構成市町村に確認しているので無いと思われませんが、再度確認します。

(委員)

レッドデータブックなど希少動植物については考慮するか。

(コンサルタント)

レッドデータブックは、希少動植物の生息範囲を市町村やもっと広い範囲で設定しているため、エリアなり候補地が絞り込まれた時点で調査し比較対象項目としていく必要があると考える。

(委員)

水源がなければならぬということは条件として重要だと考える。上水道だけしか水源がないとする場合大変不経済であり候補地としては不適切であると考えているがどうか。

(事務局) 確かに水源は重要であるが、ある程度候補エリアなり候補地が絞られてきた時点で評価項目のひとつとして委員会でご論議いただきたいと考えている。

(委員)

以前、示された条件として、一日 2 往復できるエリアとして、原則中継所を設けることは困難として、それぞれの市町村から半径 20 キロメートルの重なる場所が候補地エリアとして適しているとしていたがそれはどうなのか。

(事務局)

一つの条件として考える必要はある。現時点でその条件を採用するかどうかについてはなんともいえないので、今後委員会でご協議いただきたい。

(委員長)

以前提示した条件についても、事務局のほうでまとめて報告するようにしていただきたい。

(委員長)

除外項目の中に活断層があるがこれはどの資料に基づき調査したのか。

(コンサルタント)

全国的に国(旧建設省)が調査した資料に基づき地理情報を整理している。ただし、まだ調べ切れていない資料があれば追加して整理していく予定である。

(委員長)

活断層については、長野県独自で調査している資料もあり、一般的に知られているものから、あまり知られていないものもあるのでその辺のこともどのデータを使用するかは、重要である。今後検討していくうえでさらに精査したい。

(委員)

風向・風速は地理情報システムとして作成しないのか。

(コンサルタント)

風の影響は、地表の起伏によって変化し、一定の方角への風の傾向を上田広域全体として調査することは難しい。そのため、候補地が絞られた時点で必要に応じて個別に検討したいと考えている

(委員長)

広域のエリア全域で風向を調べるのではなく、ある程度候補地が絞られたところでの評価項目としていきたい。標高については今後の条件に加えていく検討をしなければならない。

いずれにしても、今回提案した項目は第1回目の検討としていただき、これからさらに議論しながら繰り返し検討していくこととしたいので、よろしく願いしたい。

(委員)

積極的に施設を誘致するとか、前向きな意見が住民から出された場合も検討事項としていくことも考えたらどうか。

(委員長)

そのことはもちろん検討してよいと思うが、あくまでも委員会で客観的な評価をした中で選定していくべきである。そうしないと逆に地域から反対があれば選ばないということにもなりかねない。公平性を欠くことになる。

(4) 広域連合のごみ処理の状況

(事務局)

資料20ページから25ページまで (4) 広域連合のごみ処理の状況について資料4に基づいて説明する。

(委員)

特に質疑なし

(委員長)

今回提出していただいた資料は、今後の会議を進める上でも基礎的なデータとなると思うので、後でもいいので質問などありましたらお出しいただきたい。

(5) 候補地選定のスケジュール(案)について

(事務局)

資料26ページから27ページまで (5) 候補地選定のスケジュール(案)について資料5に基づいて説明する。

(委員)

今後委員会を進めていく上で共通の認識を持つことが必要であると考え。

1としてごみ処理施設は広域内のどこかに必要最小の規模が必要であるということ。

2として昨年提出された施設整備検討委員会の意見書の趣旨については尊重すること。

3として委員会の役割は、候補地を選定して提言することである。

4としてごみ問題に対する意識改革を進め、循環型社会に向けてごみを減らす姿勢を示していくことも重要である。

5として説明責任をどうするのか、住民に向けて中間報告会などを開くことも必要と考える。

(委員長)

1の最低限必要な施設を建設していくということは基本となる考えであると思う。

2以降についても大変大切なことであるので今後委員会で議論を深めてまいりたい。これまで住民は行政の政策が決定してから聞かされることがあったが、このような問題を解決していく上で、住民の意見をどれだけ反映できるかが鍵であり、意見を反映させるルートを準備していくようにしたい。

(委員)

難しい問題なので、委員へ直接意見が来るとも思うが、個人としては受けずに、委員会として意見を受ける形を徹底すべきである。

(委員長)

意見は事務局に出してもらい、委員会に資料として提出し、議論することとしたい。それから日程については、事務局で提示された日程は案であるのでこのとおりできないことも考えられるわけで、場合によっては専門部会で検討することもあるかと考えられる。日程は目安として理解しておいてもらいたい。

(6) 第3回委員会先進地視察について

(事務局)

資料28ページ (6) 第3回委員会先進地視察について資料6に基づいて説明する。

(委員)

住民を含めた視察は考えているか。

(事務局)

今回の視察は、委員のみで考えている。

(委員長)

住民を含めた視察については今後委員会として企画していくことも考えたらどうか。

(事務局)

日程の詳細については後日出欠を確認したところで通知することとしたい。別紙出欠確認及び日程調整表にご記入いただきFAXで事務局にお送りいただきたい。

5 その他

(事務局)

長野広域連合ごみシンポジウムの案内。

(委員長)

委員会の時間については終了時刻を予定していなかったが、だいたい4時頃までと考えているので、今後委員の皆さんについては、そのつもりで予定を入れていただきたい。本日はこれで終了としたい。

6 閉会

(事務局)

閉会(4時00分)